

カラ

4011987-02 C01

内容物の確認

このたびは、エプソン CS-6500 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。 梱包を開けたら、付属品がすべてそろっていることと、CS-6500 本体、および付 属品に損傷がないことを確認してください。

万一、不足や不良がございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

操作パネル	操作パネル取付板 操作パネルを、オプションの専用スキャナス タンドに取り付ける際に使用します。
プリンタ用I/Fカード プリンタ内部の専用コネクタに装着します。	スキャナ用I/Fカード スキャナ背面のオプションスロットに装着し ます。
CS-6500 ROMモジュール	増設メモリ(128MB)
プリンタ内部の ROM モジュールソケットに	プリンタ内部の増設メモリソケットに装着し
装着します。	ます。
スキャナ用I/Fケーブル	操作 パネル用I/Fケーブル
スキャナとプリンタ用I/Fカードの接続に使用	操作パネルとプリンタ用I/Fカードの接続に
します。	使用します。
お客様情報カード	ネジ(座金なし:6本 座金あり:2本)
お客様に情報や連絡を差し上げる際に使用し	本製品のセットアップ時に使用します。
ますので、必ずご返送ください。	詳しくは、本書をお読みください。
保証書発行請求書 返信用封筒 同梱の返信用封筒で郵送していただくと、保 証書をお送りします。詳しくは下記の説明を 参照してください。	取扱説明書 • セットアップガイド • ユーザーズガイド • 原稿の向きとコピーの向き

販売店様へのお願い(保証書発行請求書、返信用封筒について)

本製品につきましては、弊社にてお客様情報を登録させていただいた後、設置日より1年間有効 の保証書を発行いたします。つきましては、設置等の作業が終了し、本製品の正常動作を確認さ れましたら、お手数でも本「保証書発行請求書」の各項目に必要事項をご記入いただき、1枚目 のみを添付の返信用封筒に入れ、弊社まで郵送くださいますようお願いいたします。 なお、本「保証書発行請求書」を返送されない場合や必要事項の記入漏れなどがございますと、保 証書が発行できず、万が一の故障の場合でも有償修理となり、各種サービス・サポートが受けら れませんので、必ずご返送くださいますようお願いいたします。 取扱説明書の種類と使い方

本製品には次の取扱説明書が付属しています。

セットアップガイド(本書)

この取扱説明書は、次の内容を記載してあります。

● 内容物の確認

● CS-6500、プリンタ、スキャナのセットアップの仕方

セットアップを代理店に依頼される場合は、本書をお読みになる必要は ありません。

ユーザーズガイド

CS-6500の取扱説明書です。CS-6500、プリンタ、スキャナを使用してコピー する手順や、困ったときの対処について説明しています。

原稿の向きとコピーの向き(早見表)

スキャナへの原稿のセット方向と、プリンタへの用紙のセット方向を説明 しています。コピーシステムの近くに置いてご活用ください。 . . .

本文中のマークについて

マークが付いている文章は次のように重要な内容を記載しています。必ずお 読みください。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、装置本体が損傷する可能性が想 定される内容を示しています。

. . .



お取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと(操作)を記載しています。

ポイント

<u>用語(*1)</u> 分かりにくい用語の説明を、欄外に記載している事を示しています。

取扱説明書の種類と使い方.....i 本文中のマークについて.....ii

.

. . .

設置する前に

もくじ

開梱からコピーまでの手順	2
設置に必要なスペース	4
専用スキャナスタンド / プリンタ台を	
使用する場合	4
専用スキャナスタンド / プリンタ台を	
使用しない場合	5
設置上のご注意	9

スキャナの設置

輸送用固定ノブの取り扱い11	
スキャナを使用するとき11	
スキャナを移動するとき11	
CS-6500 同梱品の取り付け13	3
スキャナに取り付ける部品13	3
取り付け手順14	Ł
電源の接続と動作の確認16	5
ADF を使用する方へ18	3
スキャナビボタンについて19)

プリンタの設置

フェイスアップトレイの取り付け	22
ET カートリッジの取り付け	23
取り付け	23
感光体ユニットの取り付け	27
取り付け	28
CS-6500 同梱品の取り付け	30
プリンタに取り付ける部品	30
増設メモリについて	31
取り付け手順	32
電源の接続	39
接続	40

CS-6500の設置

専用スキャナスタンドへの取り付け	42
専用スキャナスタンドを使用しない場合	45
スキャナと操作パネルの接続	46
スキャナの接続	47
操作パネルの接続	48

. . .

(空白のページ)

設置する前に

ここでは、コピーシステムを設置するために必要なスペース や、設置上のご注意などについて説明しています。	
開梱からコピーまでの手順 P.2 設置に必要なスペース P.4 設置上のご注意 P.9	

1

開梱からコピーまでの手順

内容物の確認後、コピーを行うまでのおおまかな手順を紹介します。







• •



ここでは、オプションの専用スキャナスタンド、専用プリンタ台を使用する場 合と使用しない場合に分けて、各機器を設置するために必要なスペースを示し ます。

専用スキャナスタンド / プリンタ台を使用する場合

専用スキャナスタンド(型番: CSCBN7A)を使用すると、スペース効率の良い 置き方ができます。スキャナの背面には 10cm 以上のすき間を、 プリンタの背 面には 15cm 以上のすき間を開けてください。 専用プリンタ台 (型番: CSCBN7B) は、キャスター付きの台です。プリンタにキャ スター付きのオプションを装着していない場合、プリンタを載せて使用します。

専用スキャナスタンド(型番: CSCBN7A) 専用プリンタ台(型番: CSCBN7B)

*1 専用スキャナスタンドは、 高さを50mmごとに5段 階に調節できます。





専用プリンタ台にプリンタを載せる場合、プリンタ正面を、プリンタ台前端に 合わせて載せてください。また、専用プリンタ台と専用スキャナスタンドは、 必ず付属のロックピンで固定してください。ロックピンは、2つある穴のうち、 背面側の穴に差し込んでください。



- プリンタにオプションの増設力セットユニット(2段)を装着している場合、プリンタをスタンドの中に入れるには、最も高い状態にしてください。
- 専用スキャナスタンドの高さは、スタンドの上部と下部を固定するボルトを差し込む穴を変えることで行います。詳しくは、専用スキャナスタンドに同梱の取扱説明書を参照してください。

専用スキャナスタンド / プリンタ台を使用しない場合

専用スキャナスタンド/専用プリンタ台を使用しない場合、プリンタ、スキャナ を並べて設置することになります。各機器の設置に必要なスペースは次の通り です。

CS-6500(操作パネル)

CS-6500(操作パネル)は、本製品に同梱のゴム脚を貼り付けて、机の上など、 平らな台の上に置いて使用します。

操作パネルの寸法は次の通りです。ボタンの操作に支障のないスペースを確保 してください。



スキャナに、スキャナ用オプションのネットワークスキャニングボックスを接続している場合、操作パネル左側にネットワークスキャニングボックスを取り 付けることができます。この場合、ケーブル類に無理な力がかからないよう、操 作パネル左側のカバーを必要に応じて取り外すことができます。



プリンタ(LP-8500C、LP-8300C)

▲ 注意

本機の重量(消耗品を含め約71.2kg)に十分耐えられる、水平で安定した頑 丈な場所に設置してください。不安定な場所(ぐらついた台の上や傾いた場所 など)に設置すると、落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

プリンタの周囲には、作業がしやすいように十分なスペースを確保してください。背面と上面には通風口があるため、15cm以上のすき間が必要です。





 本機を「プリンタ底面より小さい台」の上には設置しないでください。プリンタ 底面の脚が台からはみ出していると、内部機構に無理な力がかかり、印刷や紙送 りに悪影響を及ぼします。必ずプリンタ本体より広く平らな面の上に、プリンタ 底面の脚が確実に載るように設置してください。



 本機の上に、スキャナやCS-6500の操作パネルを重ねないでください。故障の 原因になります。

スキャナ(ES-6000H)





本機はA3対応の大型スキャナですので、必ず、水平で安定した頑丈な場所に 設置してください。不安定な場所(ぐらついた台の上や傾いた場所など)に設 置すると、落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

- スキャナの周囲と上側には、操作しやすいように十分なスペースを確保して ください。
- 背面には電源コードやインターフェイスケーブルのために、10cm以上のす き間が必要です。壁に押しつけて置くと、ケーブルの根元に無理な力がか かって断線したり、ケーブルが外れる原因になりますのでご注意ください。



*1 オプションの ADF (オートドキュメントフィーダ) を装着した場合は 620mm *2 オプションの ADF を装着した場合は 488mm *3 オプションの ADF を装着した場合は 280mm



本機はA3対応の大型スキャナですので、必ず、水平で安定した頑丈な場所に 設置してください。不安定な場所(ぐらついた台の上や傾いた場所など)に設 置すると、落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

- スキャナの周囲と上側には、操作しやすいように十分なスペースを確保して ください。
- 背面には電源コードやインターフェイスケーブルのために、10cm以上のす き間が必要です。壁に押しつけて置くと、ケーブルの根元に無理な力がか かって断線したり、ケーブルが外れる原因になりますのでご注意ください。



*1 オプションの ADF (オートドキュメントフィーダ) を装着した場合は620mm *2 オプションの ADF を装着した場合は 488mm *3 オプションの ADF を装着した場合は 280mm



次のような場所に設置してください。

設置上のご注意



....



各機器は精密な機械・電子部品で作られています。次のような場所に設置する と動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。





- テレビ・ラジオに近い場所には設置しないでください。各機器は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しておりますが、微弱な電波は発信しております。近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。
- 静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電防止 マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。

. .

(空白のページ)



ここでは、スキャナの設置について説明しています。

輸送用固定ノブの取り扱いP.12	
CS-6500 同梱品の取り付け P.13	
電源の接続と動作の確認P.16	
ADFを使用する方へP.18	
スキャナビボタンについて P.19	

輸送用固定ノブの取り扱い

輸送用固定ノブは、スキャナ内部にあるキャリッジが外部からの衝撃により 移動しないよう、固定・保護するためのものです。スキャナを移動するとき 以外は、UNLOCKの状態でお使いください。

> 輸送用固定ノブの取り扱いは、ES-6000H、ES-8500とも同一です。 以下の説明の中では、ES-6000Hを例にしています。

スキャナを使用するとき

スキャナの使用時は、10円硬貨などを使って、ノブをUNLOCKの位置に回してください。



スキャナを移動するとき

スキャナの移動時は、10円硬貨などを使って、ノブをLOCKの位置に回してください。

キャリッジが固定されるため、移動中にキャリッジが動く心配がありません。 詳しくは、スキャナの取扱説明書の次の箇所を参照してください。

• ユーザーズガイド「移動時のご注意」



CS-6500 同梱品の取り付け

スキャナ背面のオプションスロットのカバーを外し、本製品に同梱のスキャナ用I/Fカードを取り付けます。

スキャナに取り付ける部品

スキャナに取り付ける部品は次の通りです。

スキャナ用 I/F カード:1枚



取り付け手順

取り付け作業にはプラスドライバが必要です。ご用意ください。





カバーの内側や内部のバネなどで、手を傷つけないように注意しながら作業を行っ てください。



- 作業の前に、設置されている金属に手を触れるなどして体に帯電している静電気を放電してください。身体に静電気が帯電している状態で、I/Fカードにさわると、静電気放電によって部品を損傷するおそれがあります。
- 必ずスキャナの電源をオフにして作業を行ってください。
- オプションスロット内部に部品やネジを落とさないよう注意してください。



スキャナの電源をオフにします。

スキャナ背面の、オプションスロットのカバーのネジ(2本)を外し、 カバーを取り外します。

取り付け手順は、ES-6000H、ES-8500とも同一です。以下の説明の中では、 ES-6000Hを例にしています。



本製品に同梱のスキャナ用 I/F カードを、オプション用スロットに差し 込みます。

I/Fカードの部品が実装されている面を上にして、スロット左右のガイドに沿ってまっすぐ差し込み、先端のコネクタがスロット奥のソケットに差し込まれる 手応えがあるまで差し込んでください。





I/F カード背面のネジ(2本)でI/F カードを固定します。



電源の接続と動作の確認

CS-6500と接続する前に、電源を接続して正常に動作するか確認します。

 \triangle



- ユーザーズガイドの巻頭に記載されている「安全にお使いいただくために」を参照の上、正しくお取り扱いください。
- 長い間スキャナを使用しない場合は、コンセントから電源プラグを抜いておいて ください。

スキャナのスイッチの形状や、背面のコネクタ類の配置はスキャナにより異な る場合がありますが、電源接続と動作確認の手順はES-6000H、ES-8500と も同一です。 以下の説明では、ES-6000Hを例にしています。

OPERATE スイッチがオフであることを確認します。

OPERATE スイッチが奥に押されている状態だと、オンになっています。もし、 オンになっていたらオフにしてください。





コンセントの電圧が AC100V であることを確認し、電源コードを接続します。

①電源コードのコネクタ側をスキャナのACインレットに差し込みます。
 ②プラグをコンセントに差し込みます。



図はES-6000Hの背面です。背面のコネクタ 類の配置はスキャナにより異なりますが、 ES-6000H、ES-8500ともACインレットは 背面の右下に設けられています。 3

OPERATE スイッチを押して電源をオンにします。

次の2点を確認してください。確認できれば正常です。

電源をオンにしたあと、キャリッジが少し動いて、蛍光ランプ(白色)が試験点灯するか。

②そのあとで READY ランプが点灯するか。





- 電源をオンにしたときに ERROR ランプと Ready ランプが点滅したら -これは、輸送用固定ノブがLOCK状態のため、キャリッジが動作できないこと を示しています。電源をオフにしてから12ページを参照してノブをUNLOCK の位置に回し、改めて上記の操作を行ってください。



以上で動作確認は終了です。後でCS-6500と接続するので、スキャナの電源をオフにしておきます。



ADF を使用する方へ

スキャナ用オプションの ADF(オートドキュメントフィーダー)について、 コピーシステムとして使用できるものは、次の型番のものです。

• ADF(型番:ESA3ADF2)



コピーシステムとして使用する場合、ADFは、型番:ESA3ADF2のみ使用で きます。

スキャナへのESA3ADF2の取り付け方法は、次の取扱説明書を参照してください。

- ES-6000Hの場合: ESA3ADF2 に同梱の取扱説明書
- ES-8500の場合 : ES-8500に同梱の取扱説明書



ADFは、原稿を連続して取り込むことができる装置です。 主な仕様は次の通りです。

- セット可能サイズ
 - 定形紙 : A6*、官製ハガキ*、A5、B5、LETTER、A4、LEGAL、B4、 LEDGER、A3
 - 不定形紙:幅 148~297mm 長さ100~432mm
 - * A6、官製ハガキは横長にセットしてください。なお、このサイズは自動検知でき ないため、A5横サイズで取り込まれます。

● セット可能枚数

- 100枚(80g/m²)*
- *エッジガイドの目盛りを超えてセットしないでください。
- 紙質

上質紙、中質紙、インクジェットプリンタ専用紙(ファイン紙、スーパー ファイン紙相当)、ボンド紙(ストラスモア、ギルバート)

● 紙厚

 $50 \sim 127 g/m^2$



ADFには、異なるサイズの用紙を一緒にセットしないでください。

スキャナビボタンについて

ES-6000H、ES-8500には、上面にスキャナビボタンが設けられています。 スキャナをコピーシステムとしてのみ使用する場合、スキャナビボタンを 誤って操作しないよう、CS-6500に同梱のシールをスキャナビボタンの上に 貼ってください。

スキャナビボタンを誤って操作しないよう、 CS-6500に同梱のシールを貼ってください。



スキャナビボタンの位置は、ES-6000H、ES-8500とも同一です。上図では、 ES-6000Hを例にしています。

. . .



(空白のページ)



ここでは、プリンタの設置について説明しています。

フェイスアップトレイの取り付け	P.22
ET カートリッジの取り付け	P.23
感光体ユニットの取り付け	P.27
CS-6500 同梱品の取り付け	P.30
電源の接続	P.39

フェイスアップトレイの取り付け

フェイスアップトレイをプリンタ左側の排紙口に取り付けます。



フェイスアップトレイを取り付ける前に、すべての保護材が取り外されている ことを確認してください。 _>アプリンタに同梱のセットアップガイド「保護材の取り外し」



フェイスアップトレイ右側のバネをプリンタの排紙口の下部に押し付 けるようにして、右側の突起をプリンタの排紙口の右側の穴に差し込 みます。





フェイスアップトレイ右側のバネをプリンタの排紙口の中に入れたまま取り付 けないよう注意してください。

フェイスアップトレイの左側の突起をプリンタの排紙口の左側の穴に 差し込みます。



フェイスアップトレイの取り付け

ET カートリッジの取り付け



ETカートリッジを取り付ける前に、すべての保護材が取り外されていることを 確認し、以下の取り扱い上の注意をご一読ください。 ②プリンタに同梱のセットアップガイド「保護材の取り外し」

取り付け時のご注意

- ETカートリッジ装着部の色を確認して、同じ色のETカートリッジを装着してください。
- 寒い場所から暖かい場所に移動した場合は、ETカートリッジを室温に慣らす ために1時間以上待ってから作業を行ってください。
- トナーは人体に無害ですが、体や衣服に付着したときはすぐに水で洗い流し てください。

保管上のご注意

- ETカートリッジは、必ず専用の梱包箱に入れ、水平に置いた状態で保管して ください。
- 以下の環境で保管してください。
 温度範囲:0~35℃
 湿度範囲:15~80%
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- CRTディスプレイの画面、ドライブ装置、フロッピーディスクなど、磁気を 帯びたものの近くに置かないでください。
- 幼児の手の届かない場所に保管してください。



2

ET カートリッジの装着口には、セットする ET カートリッジの色が示してあります。右下図の位置に表示されている色を確認して、同じ色の ET カートリッジを用意します。

ET カートリッジの装着口は次のように回転します。



3

ET カートリッジを梱包から取り出し、図のように左右に傾けて7~8回振り、中のトナーを均一にします。



(4)

ET カートリッジ先端の矢印を上に向け、次の手順で装着します。

 ETカートリッジ先端の矢印を上に向け、装着口にまっすぐ差し込みます。
 ETカートリッジが装着口の奥に当たり、これ以上押し込めなくなったら②に 進みます。



② 差し込んだET カートリッジ後端のツマミを持ち、ツマミの〇がセットの位 置にくるまで矢印の方向に約90度回します。ツマミを回すと同時にETカー トリッジが装着口に押し込まれます。ツマミが水平になり、これ以上回らな くなったらET カートリッジの装着は完了です。 **⑦**解除 解险 OED ETカートリッジのツマミはセットの位置に止まるまでしっかりと回してくださ い。装着が不完全の場合は、トナー供給不足やトナー漏れの原因となります。 次の ET カートリッジを装着します。 ① スイッチを上に押し上げます。 スイッチを押し上げたら、スイッチから指を離してください。 ポイント בר スイッチ ₽¢ ۶Õ

② ノブを図の矢印の方向に回します。 「カチッ」と音がしてスイッチが下がり、ノブがそれ以上回らなくなると、次のETカートリッジ装着口が正面にきます。

. .





スイッチを上に押し上げていないと、ノブを回すことはできません。ノブが回らないときは無理に回さずに、スイッチを押し上げてから回してください。



2から5の手順に従って4個のETカートリッジを全て取り付けます。

4個めのETカートリッジを装着したら5の作業は不要です。

感光体ユニットの取り付け



感光体ユニットを取り付ける前に、すべての保護材が取り外されていることを 確認し、以下の取り扱い上の注意をご一読ください。 ∠3プリンタに同梱のセットアップガイド「保護材の取り外し」

取り付け時の注意

- 感光体(青い円筒部分)の表面は手で触らないでください。また、感光体の 表面にものをぶつけたり、こすったりしないでください。
 感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと良好な印刷ができなく なります。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。
 室内の明かりの下でも、感光体ユニットを5分以上放置しないでください。
- 感光体表面に傷が付かないよう、作業は平らな机の上で行ってください。
- 廃トナーボックスに入っているトナーは再利用しないでください。





- プリンタ内部の定着器やその周辺部分には絶対に触れないでください。
 使用済みの感光体ユニットおよび廃トナーボックスは、絶対に火の中に入れな
- いでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

保管上の注意

- 感光体ユニットは、必ず専用の梱包袋に入れた状態で保管してください。
- 万一、感光体ユニットを使用しないのに梱包袋を開封してしまった場合、感光体ユニットを梱包袋に入れ、開封した箇所をしっかりと閉じて保管してください。
- ・ 直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
 温度範囲:0~35℃
 湿度範囲:15~80%
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- CRTディスプレイの画面、ドライブ装置、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くには置かないでください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

取り付け

感光体ユニットを取り付けます。



感光体ユニットを梱包から取り出し、保護シートをはがします。

感光体ユニットは、机の上などに置かず、必ず持ったままの状態で作業を行ってください。



感光体(青い円筒形の部分)の表面は手で触らないでください。また感光体の表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。
 感光体の表面に手の脂が付いたり傷が付くと、印刷品質が悪くなります。

 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下で も5分以上放置しないでください。



2

感光体ユニットの上部のオレンジ色の取っ手を持ち、左右のガイド部 をプリンタ内のレールに合わせて、まっすぐ押し込みます。

感光体はプリンタの奥までしっかり押し込んでください。





感光体ユニットのガイドは、プリンタ内のレールに正しく合わせて、プリンタ の奥までしっかり押し込んでください。その際に、感光体(青い円筒部分)を 他の部品に接触させないよう十分注意してください。



. . . .

. .

CS-6500 同梱品の取り付け

プリンタの右上カバーを外し、本製品に同梱の部品を取り付けます。

プリンタに取り付ける部品

プリンタに取り付ける部品は次の通りです。

• CS-6500 ROM モジュール:1枚



 プリンタ用I/Fカード:1枚 (CS-6500に同梱のネジ(1本)と、プリンタ背面のネジ(2本)で固定します。)



 増設メモリ(128MB):1枚 (CS-6500に同梱の増設メモリは、容量128MBのものが1枚です。プリン タのメモリは、最大768MBまで増設できるため、必要に応じて市販の増設 メモリを用意してください。)



- 本製品に同梱の増設メモリの他に、増設メモリを用意している場合も、次ページの説明を参照して増設メモリの取り付けを行ってください。
- プリンタ用オプションのハードディスクユニット等、他のオプションを用意している場合、プリンタの取扱説明書や各オプションの取扱説明書を参照して、取り付けてください。

増設メモリについて

プリンタをカラーコピーシステムとしてお使いになる場合、プリンタ搭載メ モリ容量は160MB(標準搭載メモリ32MB+増設メモリ128MB)以上が必 須条件となります(推奨288MB)。

標準搭載メモリ(32MB)だけでは使用できません。本製品に同梱の増設メモリ(128MB)や、市販の増設メモリを、以下の手順に従って取り付けてください。



取り付け手順

取り付け作業にはプラスドライバが必要です。ご用意ください。 また、先端が磁石になっているドライバを使用してください。





カバーの内側や内部のバネなどで、手を傷つけないように注意しながら作業を行っ てください。



 作業の前に、設置されている金属に手を触れるなどして体に帯電している静電気を放電してください。身体に静電気が帯電している状態で、I/Fカードやメモリ/ ROMモジュールにさわると、静電気放電によって部品を損傷するおそれがあります。

- •必ずプリンタの電源をオフにして作業を行ってください。
- プリンタ内部の基板に触れないよう注意してください。また、プリンタ内部に部 品やネジを落とさないよう注意してください。

プリンタの電源をオフにします。



プリンタ本体背面の、上から2番目のコネクタカバーのネジ(2本) を外し、コネクタカバーを取り外します。





取り外したコネクタカバーは保管しておいてください。取り外したネジ(2本)は、 プリンタ用I/Fカードの取り付けに使います。なくさないように注意してください。



プリンタ用 I/F カードのコネクタ、ROM モジュール用ソケット、増設 メモリ用ソケットの位置を確認します。



- 標準メモリ用ソケット0に装着されているメモリも大容量のものに交換することができます。ただし、ソケット0には必ずメモリを装着しておいてください。プリンタが動作しなくなります。
- プリンタにはじめから装着されている標準ROMモジュールは、絶対に取り外さないでください。取り外すとプリンタが動作しなくなります。





3つの ROM モジュール用ソケットの内、使用可能なソケットは A、B の 2つ です。ROM モジュール用ソケット C は、ROM モジュールを装着しても使用 できません。

プリンタ用 I/F カード背面のコネクタと、プリンタ背面の穴の位置を合 わせ、プリンタ用 I/F カードのコネクタと、プリンタのソケットの位置 を合わせて、差し込みます。

プリンタ用I/Fカードを扱う際は、基板上の部品に触れないよう、I/Fカードの 端を持ってください。





本製品に同梱のネジ(1本)で、プリンタ用 I/F カードを固定します。



ここでは、本製品に同梱のネジのうち、座金のない、ネジ溝の間隔が狭いネジ (1本)を使用してください。



注意

プリンタ内部にネジを落とさないように注意してください。先端が磁石になっ ているドライバを使用してください。

CS-6500同梱品の取り付け

35



手順2で外したネジ(2本)で、プリンタ用 I/F カード背面を固定します。



1

本製品に同梱の ROM モジュールを装着します。



装着する際に、必要以上に力を掛けないでください。部品を損傷するおそれがあります。作業は慎重に行ってください。

• 取り付ける方向を逆にしないように注意してください。



- 本製品に同梱のROMモジュールは、ソケットA/Bどちらに装着してもかまいません。
- プリンタ用オプションの ROM モジュールと一緒に装着する場合、装着するソケットが限定される場合があります。プリンタ用オプションのROMモジュールの取扱説明書を参照してください。
- ROMモジュールの切り欠きのある側を、ソケット端の×印のある側に向け、
 図のようにまっすぐソケットに差し込みます。



② ROM モジュールが正しく装着されると、ソケット端の×印の部分が飛び出した状態になり、ROM モジュールが固定されます。





本製品に同梱の増設メモリを装着します。

本製品に同梱の増設メモリは、ソケット1/2どちらに装着してもかまいません。

 1 増設メモリをまっすぐにソケット に差し込みます。 切り欠きのある側を下に向けて差 し込みます。

②増設メモリが正しく差し込まれる と、ソケット左右のツメが増設メ モリの左右の切り欠きにかみ合 い、固定されます。







次の手順で右上カバーを取り付けます。

①右上カバーの下側をプリンタに添えて位置を決めます。
 ②右上カバーの上側をプリンタの上部にはめ込みます。
 ③右上カバーを前方にスライドさせます。



13

右上カバーをネジ(3本)で固定してから、前カバーと紙送りユニット を閉じます。

. . .



電源の接続

電源に関する注意

1.警告 **雷源コードは本製品に添付されている専用のコードを接続してください。** 発熱などによる火災や感電、発煙のおそれがあります。 電源プラグは、定格電圧100Vのコンセントに単独で差し込んでください。また、 たこ足配線、テーブルタップやコンピュータなどの裏側にある補助電源への接続は しないでください。 発熱による火災や感電のおそれがあります (本機の定格電流は 100V/10Aです)。 電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。 そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱や火災の原 因となることがあります。 電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。 感電のおそれがあります。 アースを接続しない状態で使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 接地 (アース) 付きプラグを接続できない場合は、プラグ変換アダプタのアースを 必ず次のいずれかに取り付けてください。
 ・
 ・
 電源コンセントのアース端子
 銅片などを650mm以上地中に埋めた物 接地工事(第3種)を行っている接地端子 感電防止のためプラグアダプタを使用する場合は、コンセントに接続していない状 態で作業してください。 ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れない場合 やアースが施されていない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。 次のような場所には、絶対にアース線を接続しないでください。 ガス管(引火や爆発の危険があります) 電話線用アース線および避雷針(落雷時に大量の電流が流れる可能性がある) ため危険です) 水道管や蛇口(配管の途中がプラスチックになっている場合は、アースの役) 目は果たしません) ▲ 注意 本機の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。 電源プラグが変形し、発火の原因となることがあります。 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。 電源コードを引っ張ると、コードが傷付いて、火災や感電の原因となることがあり ます。 インターフェイスケーブルやオプション製品を接続するときや消耗品を交換すると きは、必ず本機の電源スイッチをオフにしてください。 感電の原因となることがあります。



40

<u>CS-6500の設置</u>

ここでは、CS-6500の設置とスキャナおよびプリンタとの 接続について説明しています。

専用スキャナスタンドへの取り付けP.42 専用スキャナスタンドを使用しない場合P.45 スキャナと操作パネルの接続P.46

専用スキャナスタンドへの取り付け

オプションの専用スキャナスタンド(型番:CSCBN7A)を使用する場合、次の手順でCS-6500の操作パネルを取り付けます。

 操作パネルの専用スキャナスタンドへの取り付けは、本製品に同梱の操作パネル取 付板とネジ(5本)、および専用スキャナスタンドに同梱のネジ(4本)が必要です。

操作パネルと操作パネル取付板は、操作パネルに操作パネル用ケーブルを接続した後に取り付けてください。
 操作パネルを操作パネル取付板に取り付けた後で、操作パネル用ケーブルを接続することはできません。

専用スキャナスタンドの組み立て方は、専用スキャナスタンドに同梱の取扱説 明書を参照してください。

また、専用スキャナスタンドは、組み立て時に、高さを調整できます。プリン タにオプションの増設力セットユニット等を装着している場合、プリンタが専 用スキャナスタンドの中に入るよう、専用スキャナスタンドの高さを調整して ください。

操作パネルのコネクタに、操作パネル用ケーブルを接続します。

ケーブルのどちら側を接続しても、かまいません。



操作パネル右側の裏面

操作パネル用ケーブル

2



操作パネルと、操作パネル取付板を、ネジ(5本)で固定します。

このとき、次の点に注意してください。

- 操作パネルと操作パネル取付板をネジで固定する際、次の点に注意してください。 • 操作パネルと取付板をささえる人と、ネジで固定する人の、2人以上で行ってく ださい。
- 操作パネル取付板を取り付けるために操作パネルを裏返すときは、左側のカバー を押さえながら裏返してください。カバーを押さえずに裏返すと、カバーが開 き、中のトレイ等が落ちる可能性があります。
- 操作パネルを裏返してネジで固定する場合、操作パネルが傷ついたり破損することを防ぐために、平らな台の上で、柔らかい布等の上に置いてください。
- 操作パネルの破損を防ぐため、ネジをきつく締めすぎないでください。



- 操作パネルと操作パネル取付板の固定に使用するネジ(5本)は、本製品に同梱 されています。
- ここでは座金の付いていない、ネジ溝の間隔が広いネジ(5本)を使用してくだ さい。
- 操作パネルに接続している操作パネル用ケーブルのコア(円筒形の部品)が、操作パネル取付板の内側に入るようにして取り付けてください。



3

操作パネルとスタンド取付板を、図のように専用スキャナスタンド正 面にまっすぐ差し込みます。

. .

専用スキャナスタンド前面にカバーが装着されている場合、ネジ(2本)を外して、カバーを取り外してから差し込んでください。



専用スキャナスタンドに同梱のネジ(4本)で、底面と背面を固定します。



専用スキャナスタンドへの取り付け



専用スキャナスタンドを使用しない場合、本製品に同梱のゴム脚を、操作パネルの底面に貼り付けて使用してください。

ゴム脚(大:2個)は、操作パネルの背面側に、ゴム脚(小:2個)は、正面 側に貼り付けます。



• •

スキャナと操作パネルの接続

CS-6500の操作パネルとスキャナを、プリンタに装着したI/Fカードのコネ クタと、CS-6500に同梱のケーブルで接続します。 接続の概要は、下図のようになります。



同梱のケーブルには、次の2種類があります。接続の際は、コネクタの大きさ と向きを確認して、接続するケーブルを間違えないようにしてください。

- 操作パネル用ケーブル:コネクタの小さいケーブルです。操作パネルとプリンタ用I/Fカードの接続に使用します。
- スキャナ用ケーブル : コネクタの大きいケーブルです。スキャナ用 I/F カードとプリンタ用I/Fカードの接続に使用します。

ケーブル固定について(操作パネル) 専用スキャナスタンド(CSCBN7A)を使用する場合、専用スキャナスタ ンドに同梱のクランプ(止め具)を下図の位置に取り付けてください。 スキャナを載せる台の裏側のクランプ(2個)に操作パネル用ケーブルを通 し、スタンド背面のクランプ(2個)に、操作パネル用ケーブルとスキャナ 用ケーブルを束ねて通してください。



スキャナの接続

スキャナに装着したI/Fカードと、プリンタに装着したI/Fカードのコネクタ (大きい方)を、スキャナ用ケーブルで接続します。 専用スキャナスタンド/プリンタ台を使用している場合、スキャナやプリンタ を、それらに載せてから接続してください。



スキャナとプリンタの電源をオフにします。

スキャナとプリンタを接続します。

スキャナ用ケーブル(両端のコネクタが大きいケーブル)を、スキャナに装着したI/Fカード背面のコネクタと、プリンタに装着したI/Fカードの大きい方のコネクタに差し込みます。

カチッという音がして、確実に差し込まれたことを確認してください。



スキャナ用ケーブルは、「ECIF」という刻印があるコネクタに接続してください。

操作パネルの接続

CS-6500の操作パネル右側のコネクタと、プリンタに装着したI/Fカードのコ ネクタ(小さい方)を、操作パネル用ケーブルで接続します。 専用プリンタ台を使用している場合、プリンタを専用プリンタ台に載せてから 接続してください。

プリンタの電源をオフにします。

操作パネルとプリンタを接続します。

操作パネル用ケーブル(両端のコネクタが小さいケーブル)を、操作パネル右 側のコネクタと、プリンタに装着したI/Fカードの小さい方のコネクタに差し込 みます。

カチッという音がして、確実に差し込まれたことを確認してください。

操作パネル側

プリンタ側





専用スキャナスタンドを使用する場合、操作パネルを専用スキャナスタンドに 取り付ける前に、操作パネル右側のコネクタに操作パネル用ケーブルを接続す る必要があります。

本書「専用スキャナスタンドへの取り付け」(P.42)を参照して、取り付けを行った後、プリンタに装着したI/Fカードに、操作パネル用ケーブルを接続してください。

操作パネル用ケーブルは、「PANEL」という刻印があるコネクタに接続してくだ さい。

ネットワークスキャニングボックスをお使いの場合

CS-6500 と接続したスキャナで、スキャナ用オプションの ネットワークスキャニングボックス(型番:ESNSB1)をお使 いの場合、ネットワークスキャニングボックスをCS-6500の 操作パネルに取り付けることができます。ここでは、ネット ワークスキャニングボックスの取り付け方を説明しています。 ネットワークスキャニングボックスをお使いの場合のみ、お 読みください。

ネットワークスキャニングボックスの取り付け.... P.50

ネットワークスキャニングボックスの取り付け

ネットワークスキャニングボックス(型番:ESNSB1)は、エプソン製ESシ リーズスキャナ用のオプションです。

本製品に接続したスキャナと一緒にネットワークスキャニングボックスを使用している場合など、ネットワークスキャニングボックスを操作パネルに取り付けて、スペースを効率良く使用することができます。

ネットワークスキャニングボックスとスキャナの接続については、ネット ワークスキャニングボックスに同梱の取扱説明書を参照してください。 ここでは、CS-6500の操作パネルにネットワークスキャニングボックスを取 り付ける手順について説明します。



3

ネットワークスキャニングボックスのケーブルを、操作パネル左側 から図のように通して、ネットワークスキャニングボックスに接続 します。

- ケーブルのコネクタの向きを間違えないよう、下図を参照して確認してください。
- コネクタを接続する際は、左右のバネ部を押さえて差し込み、確実に固定されていることを確認してください。



ケーブルに設けられているコア(円筒形の部品)は、 操作パネルの内側には入りません

ネットワーク I/F のケーブルを、ネットワークスキャニングボックスに 接続します。

ネットワークスキャニングボックスのケーブルの上に、ネットワークI/Fケーブルが重なるようにして接続してください。

ネットワーク I/F ケーブルを、 上にしてください



ネットワークスキャニングボックスの AC アダプタのケーブルを、 ネットワークスキャニングボックスに接続します。

AC アダプタのケーブルは、他のケーブルより下になるようにしてください。



ネットワークスキャニングボックスの左側を、図のように操作パネル 左側のくぼみに差し込みます。

ケーブルが外れないように、ゆっくりと差し込んでください。



各ケーブルが外れていないか、ケーブルに無理な力がかかっていないかを 確認してください。

ネットワークスキャニングボックスの左側を操作パネルに差し込んだ ら、右側をゆっくり下げて、完全に操作パネルの中に入れてください。 操作パネルの裏から、ネジ(2本)で固定します。 (ネジは、本製品に同梱されています。座金の付いているネジを使用してください。) 操作パネル左側のカバーを、元通りに取り付けます。 操作パネルを専用スキャナスタンドに取り付けていない場合、ケーブル類に無 理な力がかからないよう、左側のカバーを必要に応じて外すことができます。

また、操作パネル底面に、同梱のゴム脚を貼り付けてください。

ポイント

53

操作パネル左側のカバーを閉じます。

ネットワークスキャニングボックスのスイッチを誤って操作することのないよう、操作する必要のないときは、カバーを閉じておいてください。

ケーブル固定について(ネットワークスキャニングボックス) 専用スキャナスタンド(CSCBN7A)に装着した操作パネルにネットワークス キャニングボックスを取り付けている場合、専用スキャナスタンドに同梱のク ランプ(止め具)を下図の位置に取り付け、ネットワークスキャニングボック スに接続しているケーブルを束ね、クランプに通して固定してください。 また、ネットワークスキャニングボックスのACアダプタ本体は、ネット ワークスキャニングボックスに同梱のマジックテープを使って、専用スキャ ナスタンド下図の面に貼り付けてください。



— MEMO — ____ _ _____ _____ _ _ _ _

— MEMO —— ____ _ ____ _____ _ ____ _ _____

ご注意 ――

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載 もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承くだ さい。
- (5)本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、 またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に 起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理等は有償で行います。

EPSON

●エプソン販売のホームページ[I Love EPSON]http://www.i-love-epson.co.jp 各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

コーキショルには、サインスクレビン、シーンスクレビン、シーンスクレビンスの「オースクレビンス」、「オースクレンス」、「オースクレンス」、「オースクレンス」、「オースクレンス」、「オースクレンス」、「オースクレンス」、「オースクレンス」、「オースクレンス」、「オースクレンス」、「オースクレンス」、「オースクレンス」、「オースクレンス」、「オースクレンス」、「オースクレンス」、「オースクレンス」、「オースクレンス」、「オースクレンス」、「オースクレンス」、「オースクレンス

●出張修理·保守契約申込先

出張修理、保守契約のお申し込みは、下記フィールドセンター(FC)まで、ご連絡下さい。

拠点名	電話番号	管轄地域	拠点名	電話番号	管轄地域
札幌FC	(011)222-7590	北海道全域	京都FC	(075) 255-6891	京都・滋賀
仙台FC	(022)214-7625	青森·秋田·岩手·山形·宮城·福島	広島FC	(082)222-3482	山口・広島
松本FC	(0263) 54-7302	長野·山梨	岡山FC	(086) 223-3331	鳥取・島根・岡山・広島(福山市)
東京FC	(042)354-0750	東京·神奈川·埼玉·千葉·栃木·	四国FC	(087)851-6728	香川・愛媛・高知・徳島
		群馬・茨城・新潟	福岡FC	(092)622-8626	福岡・佐賀・長崎・大分
名古屋FC	(052)202-9510	愛知・岐阜・三重	北九州FC	(093)541-3155	福岡北部
静岡FC	(054)251-1360	静岡	熊本FC	(096) 326-4519	熊本
金沢FC	(076) 224-7084	石川·富山·福井	鹿児島FC	(099)254-5913	鹿児島·宮崎
大阪FC	(06)6397-0930	大阪・奈良・和歌山	沖縄FC	(098) 858-3301	沖縄
神戸FC	(078) 332-9905	兵庫			

【受付時間】月曜日~金曜日 9:00~17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

●修理品送付・持ち込み・ドア to ドアサービス依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込み頂くか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	ドア to ドアサービス 受付電話	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1丁目 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス株	同右	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-9995 ドア to ドア専用	0263-86-7660
日野修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス株	受付電話 365日受付可	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス機	同右	092-622-8922
とも細胞で用し、な	=000,0007 邪悪士山下町5,01 油畑活用社ビル05 エプハッサービス地	E +	000 050 4400

| 沖縄修理センター | 〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エブソンサービス樹 同右 098-852-1420 *「ドア to ドアサービス」は修理品の引き上げからお届けまで、ご指定の場所に伺う有償サービスです。お問い合わせ・お申込は、上記修理センターへご連絡下さい。

*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承下さい。【受付時間】月曜日~金曜日 9:00~17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

*修理について詳しくは、ホームページアドレスhttp://www.epson-service.co.jpでご確認下さい。

●エプソンインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。 札幌(011)222-7931 仙台(022)214-7624 東京(042)585-8555 名古屋(052)202-9531 大阪(06)6399-1115 広島(082)240-0430 福岡(092)452-3942 【受付時間】月~金曜日9:00~20:00 土曜日10:00~17:00(祝日・弊社指定休日を除く) ●購入ガイドインフォメーション 製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

(042)585-8444 【受付時間】月~金曜日 9:00~17:30(祝日、弊社指定休日を除く) ●FAXインフォメーション EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。

札幌(011)221-7911 東京(042)585-8500 名古屋(052)202-9532 大阪(06)6397-4359 福岡(092)452-3305

●エプソンデジタルカレッジ (スクール) に関するお問い合わせ・お申し込み 東京 TEL(03)5295-4169 FAX(03)5295-4168 [受付時間]月曜日~全曜日10:00~12:00/13:00~17:30(祝日,弊社指定休日を除く) 大阪 TEL(06)6634-8570 FAX(06)6634-2570 [受付時間]水曜日を除く毎日10:00~12:00/13:00~17:30(弊社指定休日を除く) ※スケジュールはホームページ、FAXインフォメーションでもご確認できます。

●ショールーム ※詳細はホ	ニームページでもご確認できます。
エプソンスクエア新宿	〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル
	【開館時间】 月曜日~金曜日 9.30~17.30(杭日、幹杠指定体日を除く)
エプソンスクエア秋葉原	〒101-0021 東京都千代田区外神田3-13-7
	【開館時間】 毎日 10:00~18:00(弊社指定休日を除く)
エプソンスクエア御堂筋	〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋
	【開館時間】 月曜日~金曜日 9:30~17:30(祝日、弊社指定休日を除く)
エプソンスクエア大阪日本橋	〒556-0005 大阪市浪速区日本橋5-4-20 エスタビル
	【開館時間】 毎日 10:00~18:00(弊社指定休日を除く)
●エプソンディスクサービ	7
タモビニノバの早年バー ごうは	·・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
合理トノイハリ取利ハーションで	:動送での届け取します。の中述方法・杆金など、肝しくは工能FAA1ンフォメーションの具件でご推認下さい。
●消耗品のご購入	

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社 フリーダイヤル0120-251528 でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階 セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5